

国際医療リスクマネジメント学会
世界健康リスクマネジメントセンター

医療安全国内講習会 主催者の挨拶

医療安全教育セミナー2014 年度冬期

(日本語社会人教育プログラム)

安全技術の基礎コース

2014 年度冬期の「医療安全教育セミナー」を開催いたします。本実習は 2006 年度から開始し、すでに 9 年目となりました。

本教育実習の目的は医療現場における事故原因を調査し、そこから病院システムの改善方法を構築する安全科学の基本となる諸技術を習得することです。

第 1 日目は RCA、第 2 日目は FMEA、第 3 日目は KYT を課題とした小グループ学習が実施されます。RCA と FMEA は英語圏の医療機関において医療安全の基本技術として活発に導入されています。また本プログラムでは、医療従事者個人のリスク感覚の向上のための KYT についても学習します。最終日の第 3 日目には、ここで学習する諸技術をすでに導入している医療機関の事例をいくつか紹介いただき、医療現場での活用方法を学びます。

なお、本年度は、医療事故時の医療機関の危機対応システム、すなわちクライシス・ガバナンスのあり方についても、幾つかの実例を交えて学習します。

安全教育はすべての事故予防の基本であり、人類の永遠の課題です。
それには、関連する知識ならびに技能に関する日々の向上が不可欠です。

2014 年 10 月

国際医療リスクマネジメント学会
世界健康リスクマネジメントセンター
会長・理事長 酒井 亮二

主催者一同